

主体的な学びで授業力up!

日常的で気軽な授業研究会と校内研修の工夫

徳島市城東小学校

ゆるふわ授業研

学びは多いが、負担も大きかったこれまでの授業研究会を少しの工夫で変えます。指導案は作成せず、研究会の時間を別で設けないことで、軽やかで効率的、生き生きと取り組める授業研究会になります。

Step 1: 授業前

授業者は、職員室にあるカレンダーの授業を実施したい日時に付箋を貼る。

①



②



Step 2: 授業当日

見に行ける人が、見に行ける時間に授業を参観する。参観者どうして授業内容について話し合う。

③

参観者から

名前()

☆見てほしいポイントに対する気づきやアドバイス

全員が課題に対してしっかり考えることができていた。カードを並べる作業もとてもスムーズにできていた。最初カードの答えの方を見て並べていたのは何か意図があるのだろうか。

参観者が学んだこと・感想

3人の児童のカードの並び方も取り上げられるために写真にとって提示したのは、特徴や違いが非常に分かりやすかった。適用題が本時の学習だけでなく、発展性のある問題であり、全員が解答できる問題に選べている、いい問題だと感じた。

Step 3: 授業後

授業を見た人は、前向きな授業の感想を付箋に書き、授業者に手渡しする。

普段の授業を見合うことで、参観者は普段の授業に活かすことのできる効果的な学びができ、授業者は参観者のフィードバックによって前向きになることができる。それが教師の主体的・対話的で深い学びにもつながっている。



研修主任

テーマ研修

それぞれが必要感のあるテーマで研修に取り組むことで教員の主体的な学びにつながります。

実践事例

- ① 事前に、今の自分にとって必要感のある研修テーマについての希望調査を行い、希望に合わせて、グループ分けをする。
- ② 【第1回】研修内容について計画を立てる。
※各グループで都合の良い時間を申し合わせ研修を行う
- ③ 【第2回】第1回から1週間後に報告会を行い、各グループの学びを共有する。



第1回



第2回

報告会は、和やかな雰囲気の中で行うことができました。若手教員が積極的に発表を行い、歓声や「私もやってみたい」といった声も聞かれました。



研修主任

ストップモーション方式校内研修

教員一人一人が自分事として研修に参加することができ、それぞれの授業改善につながります。

実践事例

- ① 6年算数「円の面積」の授業動画を全員で視聴する。
- ② 児童から複数の考え方が出た部分で動画をストップ。後の授業展開を自分ならどうするか考える。
- ③ 話し合い、グループで共有する。
- ④ 全体で共有する。
- ⑤ 講師からの指導助言を受ける。



研修主任

全員が主体的に参加できて、若手の教員も意見を言えるように、研修を計画しました。先生方が話しやすい雰囲気になっていて、具体事例をもとに話し合いも深まっていたので目的は達成できたと思います。

先生方が研修後、職員室に帰っても授業の話をしていました。とてもいい研修でした。



校長